

## 書評

### 「UCSFに学ぶできる内科医への近道」(改訂3版)

山中克郎／澤田覚志 編著

(B6変型判／444頁／定価2,800円＋税／南山堂)

仲田和正

西伊豆病院院長

一読して、日常診療に大変役に立つ本でした。

ドパミン、ヘルベッサー、ミリスロール、ドルミカムなどの投与早見表があるのも日常的にとても助かります。よく使う計算式も表紙の裏にまとめられていて病棟でマニュアル的に使えます。

前半は代表的内科疾患についてまとめられています。実践的知識に加え教科書に載っていないような「へー！」と驚くクリニカルパール満載です。筆者が米国留学や、日常的に猛勉強されて得た知識を惜しげもなく与えてくれます。この辺が「UCSF (University of California, San Francisco) に学ぶ」の意味です。料理人の世界と同様、医学では教科書には載っていないけれど口伝(くでん)で伝えられるアートの部分がたくさんあるのだなと思いました。日本で勉強している限りこのようなことは知ることができないのでしょう。取りつきにくい(小生にとって)電解質の辺りの充実ぶりは圧巻です。ポイント中のポイントを、よくもまあこんなに見事にまとめたものだと思います。診断推論、EBM、プレゼンテーションの仕方など普段なかなか勉強できないようなことも要点が簡単明瞭にまとめられており読み物としても面白いし、とても得した気になります。

後半は問題集になっています。前半の事項の確認問題かと思いましたが、そうではなくそれぞれの問題自体が臨床に大変有用な各論となっております。クリニカルパールの連続で大興奮です。必須問題です。

最後に頻用薬剤の比較表がありますが、ただの薬の早見表ではなく臨床に役立つ重要点がまとめ



られています。これを眺めて、「へー、知らなかった！」と驚くことが多々ありました。

大変面白くこの本を通読できました。明日から、昔から知っていたような振りをして同僚たちに知識をひけらかそうと思っています。唯一、字が小さいのが小生のような歳の者にはちょっとつらかったですが通販の拡大鏡で乗り切りました(通販生活、シリスケー社のルーペ180、優れモノです。ハリソンを読むにも役に立ちます。ハリソンの1ページ丸ごと見えます)。

南山堂／営業部(問い合わせ)  
TEL : 03-5689-7855

---

書 評